

## 令和5年度 児童支援センター「ひゅうまん」 放課後等デイサービス自己評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			十分な広さはあります。個別対応の部屋などはありませんが、活動内容によって、使用するスペースを変えています。
	2	職員の配置数は適切であるか	○			基準配置数より多く職員を配置しています。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			活動場所や、トイレ、洗面は車いす対応できる広さは十分確保しています。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			児童発達管理責任者を中心に行っています。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			年に1度、アンケート調査を行っています。連絡帳や、お迎え時、面談、支援会議、個別相談等でも常に保護者の方からお話を聞き、反映させています。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			法人が開設しているホームページに掲載しています。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	今後検討していきたいです。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか		○		定期的な内部研修や、外部研修の情報提供を行っています。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか		○		複数の職員で検討しています。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			週ごとに内容を変え、季節を感じられるものや、体験・経験が積み重なるようなプログラムになるよう心がけています。お子さんの要望やお子さん同士で話し合う機会もあります。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			平日、休日ともに活動内容は設定し、お子さん一人一人に合った支援を行っています。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			お子さんに合わせた活動ができるよう、の状況に応じ個別活動、集団活動を行っています。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか		○		その日の予定に沿って支援を行っています。開始前に職員全体で行う事が難しく、個別で引き継いでいます。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか		○		支援終了直後、職員全体で行っていないが、気づいた点等は、個別に伝え共有しています。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			記録をとり、保護者や関係機関とも連携し、行っています。

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○		
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	○		プログラム活動や、日々の生活の場面で取り入れています。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○		年間行事を頂いたり、日々学校とコミュニケーションを取ることで情報を共有しています。トラブルなど緊急の場合、迅速に対応させて頂いています。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○	看護師が常駐していないので、医療行為ができません。ただご家族に対応して頂きながら、医療的ケアが必要なお子さんも可能な範囲で受け入れは行っています。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○		支援会議や移行会議等に参加し、情報共有しています。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○		支援会議に参加し、ひゅうまんでの様子や支援の方法等、情報共有しています。必要に応じて連絡を取り合い、情報提供しています。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		必要に応じて連絡を取り、相談したり、助言を頂いています。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○ 現在交流等行っていません。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○		
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		連絡帳や面談、支援後、支援会議などで共通理解しています。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか			○ 個別の相談等是对应していますが、勉強会など行ってないので、今後の課題です。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		契約時に行っています。またお便り等でもお知らせしています。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		随時対応させて頂いています。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○ 父母の会等、現在ありません。交流会など、父母が参加できる活動の場がないので、課題です。

	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			事業所及び事業者の苦情・要望の受付窓口を設置しています。また行政機関・その他苦情受付機関の情報もお伝えしています。苦情があった場合、速やかに対応させていただきます。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			プログラム活動一覧、ひゅうまんのお便り、活動の様子(写真)を毎月発行しています。
	35	個人情報に十分注意しているか	○			個人情報に関わる同意書を、ご利用者様、職員と取り交わしています。また常に注意喚起し、取り扱いしています。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			お子さんに合わせ、工夫しています。保護者とは連絡帳や電話、支援後など、随時行っています。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	現在行っていません。今後の課題です。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			感染性の流行期前に、保護者に対しお便りや、別文書でお伝えしています。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			職員、利用者と行っています。また、建物全体(他施設)での年1回の避難訓練にも、参加しています。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			法人内でも、虐待規定を設け、定期的に研修を行っています。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			法人内で組織的に会議を行ってます。やむを得ず身体拘束する場合は個別に保護者への説明し承諾を得ます。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			保護者に情報を頂き、対応しています。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			気付いた点は、書式で作成しています。